

算数科の学習においては、言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて、筋道を立てて説明したり論理的に考えたりして、自ら納得したり他者を説得したりすることができることが大切です。



授業のねらいを「○○○を考えて説明しよう。」と設定する場合があります。
何が問われていて、何を説明するのか(事実、方法、理由)を明確にした上で、必要な要素について話し合うことが大切です。
 ※単元到達度評価問題にも説明する問題を出題しています。そちらもぜひ、参考にしてください。

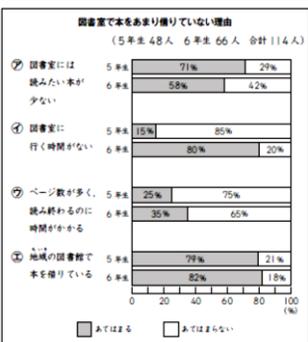
参考「お役立ち情報」
 (R3.7「方法」) (R3.9「理由」)



本号では、「**事実**」を説明する問題を取り上げます。

- ・計算や図形の性質、二つの数量の関係などの説明
- ・表やグラフなどから見いだすことができる特徴や傾向の説明 など

令和3年度全国学力・学習状況調査問題 **3 (4)**



左のグラフについて、5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の①割合のちがいが、いちばん大きい項目はどれですか。また、その項目について、「あてはまる」と答えた②5年生と③6年生の割合はそれぞれ何%ですか。
 項目とそれぞれの割合を、言葉と数を使って書きましょう。

- ①5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きい項目は、**Ⅰ図書室に行く時間がない**です。
- ②5年生が**15%**
- ③6年生が**80%**です。

解答類型を分析すると、①は書いているが、②③を書いている児童、無回答の児童の割合が、全国に比べて高くなっていました。

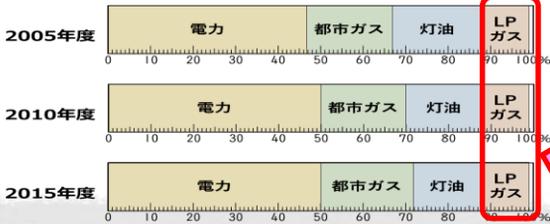
☆数量や図形、数量の関係を**考察して見いだした事実**を、**確認**したり**説明**したりすることが大切!

5年生「割合のグラフ」(P.200~209)

説明する対象を明らかにして説明する。

次の資料から、どんなことがいえるかを考えましょう。

家庭の資げん別消費エネルギー量の割合



グラフから、特徴や傾向、正しい数値を読み取って説明できるようになってほしい...

それぞれのグラフの「灯油」のところを見ると、灯油の割合がだんだんと減っていることがわかります。
 灯油の割合は、2005年が21%、2010年が18%、2015年が16%です。

授業展開例



家庭の消費エネルギーで一番多いのは、電力です。



LPガスの割合は、変わっていません。



電力の割合が一番多いのはわかるけど、LPガスの割合は本当に変わっていないのかな。



注目! 見いだした事実を確認するための問いかけ

読み取ったことは、本当に正しいと言えるかな?



グラフのLPガスのところに注目してみたよ。確かに、LPガスの割合を表す部分の幅は同じように見えるね。

発見!



割合の数値を読み取って見たよ。どの年も、LPガスの割合は、11%で同じだったよ。だから、変わってないと言えるね。



それぞれの項目の大きさから分かることだけでなく、数値と合わせると、より納得してもらえる説明になるよ。



グラフのどこの部分を見るかはっきりさせて、何が言えるか考えるといいね。数値も読み取って合わせて考えると、より正しいことが言えるね。